

おいしい給食の提供と 板倉町との合併協議について



渋谷 理津子 議員



質問 新しい給食センターでは、上質なサービスが提供されているのか。

回答 PFI方式で、市の要求水準書に対して事業者が提案書を作成し、モニタリングを通して高品質な学校給食が維持されています。

質問 おいしい給食かどうかについては、第三者や児童生徒の評価を取り入れるよう要望する。地場産品は、どのようなものを使っているのか。

回答 本市産は、米が「あさひの夢」を100%、野菜はナス、ゴーヤ、かき菜が100%、キュウリ等も含め地場産使用率は、重量ベースで約39%です。豚肉

は群馬県産、鶏肉は国内産、魚は北海道や三陸、千葉のほか、海外産もあります。

質問 冷凍食品やレトルト食品は、どのようなものを使っているのか。

回答 ハンバーグ、オムレツや野菜の一部、冷凍液卵、ゼリーやタルトなどです。

質問 将来にわたり安定して食材を調達していくためにどのような対応するのか。

回答 閉店する青果店もあり、野菜や果物類の安定した調達は厳しくなりますが、

安全・安心な学校給食を安定的に提供する責務があると考えています。

要望 昨年の子ども議会では、「館林で収穫されたものだけで各学校に献立を考えてもらう」ことが提案された。衛生面や安定的な提供のほか、おいしい給食を目指すよう要望する。

質問 去る2月25日に板倉町長が同席し合同記者会見を行ったが、合併協議会の再開について、市長はどのように考えているのか。

再開については、市長はどのように考えているのか。

た制度を検討ください。

回答 合併協議会は、「機が熟していない」ため再開を見送りました。今後、社会的環境の変化により、開催が必要となった場合に再開できるよう努めます。

質問 広域連携については、どのように考えているのか。

回答 邑楽郡との連携を深めることが重要で、交通ネットワーク、広域防災、行政のデジタル化などの分野で互いに研究し具現化すること、この地域の発展につながるよう取り組みます。

することを宣誓し、証明書を発行するもので、約1年間で20組が宣誓しました。



平井 玲子 議員



窓口サービスの向上と パートナースhip宣誓制度について

窓口サービスの向上

質問 市民課窓口業務の現状について伺います。

回答 令和3年度における住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明等の交付件数は、多々良連絡所を除き2月末の累計で6万1224件、一日当たり278.3件です。住民異動届は6

829人分、一日当たり平均31人分、戸籍の届出は1880件、一日当たり平均5.6件です。

質問 来庁者が申請書を書かずに申請できる「書かない窓口」導入の考えについて伺います。

回答 先進事例の把握や他の導入状況を踏まえ、今

後研究していきます。

質問 死亡届の届出件数について伺います。

回答 平成30年度863件、令和元年度810件、同2年度932件です。

要望 多い方は9つの部署にわたる手続きが必要ですが遺族の負担を軽減するため、死亡に伴う各種手続きをワンストップで済ませることができると「おくやみコーナー」を設置している自治体があります。先進事例を研究し、本市の状況にあっ



©KOMETTO

パートナースhip宣誓制度

質問 群馬県のパートナースhip宣誓制度の認識は。

回答 同性であることを理由に婚姻できない2人がパートナーとして生活を共に

するのを宣誓し、証明書を発行するもので、約1年間で20組が宣誓しました。

要望 この制度で利用できるサービスは、県営住宅への入居や、病院において家族としての対応が可能となるほか、県が新婚夫婦や結婚予定者に発行している「ぐんま結婚応援パスポート」の配付対象にもなりま

す。県の制度に協力している市、市のサービスとしては市営住宅の入居を可能にするよう要望します。